

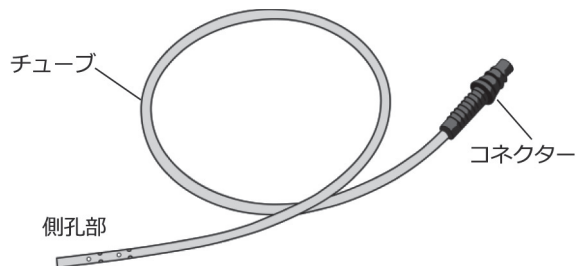
サフィード酸素カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

＜構造図（代表図）＞



本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

経鼻的酸素補給用カテーテル

【使用方法等】

1. 必要に応じて、手袋を着用する。
2. 汚染に十分に注意し、本品を包装から取り出す。
3. 経鼻的にゆっくりと挿入する。
4. チューブ等を、本品のコネクタに接続する。
5. 接続部に緩みがないことを確認してから本品の使用を開始する。
6. 粘膜を損傷しないようにカテーテルをゆっくりと抜去する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. カテーテルを挿入する場合は、鼻腔、咽頭粘膜への損傷に注意すること。
2. カテーテルを深く挿入しすぎないこと。〔胃拡張を引き起こす可能性がある。〕
3. 接続外れが生じないように確実に接続すること。〔空気の流れにより、呼吸障害を引き起こす可能性がある。〕
4. 使用中は定期的に緩み、外れがないことを確認すること。
5. チューブが折り曲げられたり、引っ張られたりした状態で使用しないこと。
6. カテーテルを留置する場合は、留置中にカテーテルがずれないように、しっかりと固定すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 本品はポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。
2. チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、また、注射針の先端、はさみ等の刃物、その他鋭利物等で傷をつけないように注意すること。〔チューブに空気の流れ、破断が生じる可能性がある。〕

ある。〕

3. チューブ及びチューブと接合している箇所は、過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。〔チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。〕
4. カテーテルに潤滑剤を塗布して使用する場合は、カテーテルの内腔を潤滑剤でふさがないように注意すること。
5. カテーテル挿入場合は、以下の事項を順守すること。
 - (1) 異常な抵抗を感じた場合は、速やかに操作を中止し、その原因を確認すること。また、担当医の指示のもと適切な処置を行うこと。
 - (2) 鼻甲介等及び鋭い器具等でチューブに傷をつけないよう注意すること。〔チューブに空気の流れ、破断が生じる可能性がある。〕
6. 体動等により本品がねじれると流路が閉塞する可能性があるの、固定方法に注意して使用すること。
7. カテーテル留置中は、以下の事項を順守すること。
 - (1) カテーテルの自己抜去を防止する対策を施すこと。〔自己抜去により、粘膜損傷及びカテーテルが破断する可能性がある。〕
 - (2) カテーテルの固定状態、挿入位置（挿入深度）等について、定期的に巡回時等で正しく留置されていることを確認すること。また、患者の呼吸状態等についても定期的に確認し、異常が認められた場合は、担当医の指示のもと適切な処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

** 外国製造業者：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

** 国 名：中華人民共和国

